

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月23日

埼玉県知事 大野 元裕 殿

提出者

住 所 千葉県松戸市中根長津町25番地

氏 名 呉光塗装株式会社

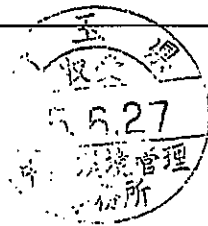
代表取締役 奥野 眞一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 047-365-1531

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

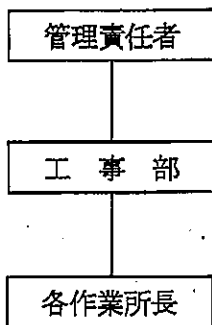
事業場の名称	呉光塗装株式会社
事業場の所在地	██████████ (呉光塗装(株)外壁修繕工事現場)
計画期間	令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	403,393万円
③従業員数	50人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物発生→収集・運搬(自社又は委託)→再生処理業者へ委託



(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	前年度 (令和4 年度) 実績]		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排 出 量	1,085.885 t	t
	(これまでに実施した取組) 施工方法の選択及び工夫により排出量の抑制を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排 出 量	1,056.005 t	t
	(今後実施する予定の取組) 施工方法の選択及び工夫により排出量の抑制に加え、簡易包装などにより搬出量の抑制を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所による廃棄物ごとの徹底分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 徹底分別の周知拡大(掲示物増設及び監視強化)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	前年度（ 令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	前年度（ 令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	前年度（ 令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	1,085.885 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	350.445 t	t
	再生利用業者への処理委託量	735.440 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 作業所で発生した廃棄物は、処分業者と打合せを行いできる限り再利用している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2の通り	
	全処理委託量	1,056.005 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	342.000 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	714.005 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組) 作業所で発生した廃棄物は、処分業者と打合せを行いできる限り再利用していく。</p>			
※事務処理欄			

別紙 1

(t)

産業廃棄物の種類	令和4年度実績	令和5年度目標	備考
廃油	14.200	12.000	
廃プラスチック類	309.750	300.000	
廃プラスチック類 (石綿含有)	20.440	20.000	
木くず	2.200	2.000	
金属くず	30.510	30.000	
紙くず	1.950	1.900	
ガラス・コンクリート・ 陶磁器くず(石綿含有)	0.100	0.100	
水銀使用製品廃棄物	0.005	0.005	
がれき類	569.060	560.000	
建設混合廃棄物	137.670	130.000	
合計	1,085.885	1,056.005	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。